



**問題**

アメリカのニッチな日英バイリンガルマーケットでは、求職者の方々が急速に減少している。

**解決**

「多様就業型ワークシェアリング」 - フリーランス・家事や育児・介護などの事情でフルタイムの仕事が出来ない方、副業をやりたい方、週末や夜だけ、あるいは平日の限られた曜日のみ仕事が可能な方を取り入れ、雇用機会や労働時間などの要素の組み合わせを変化させることを通じて1つのポジションを複数の方々で分業する。

**導入シナリオ**

- セールスとアドミの経験を持つフルタイム人材がなかなか見つからない。お子さんが学校に行かれている間のみお仕事が可能な方と午後のみ勤務可能な方2人を採用して、1人分の業務を分ける。
- 週に7日間人材が必要なサービス業の会社。平日限られた時間と週末に副業されたい方と、パートタイムで勤務できる方でチームを作る。
- 西海岸から中西部に移転した日系企業。日本の本社と常に連絡を取る必要があるが、中西部から日本時間に合わせて対応するのが厳しい。中西部のオフィスが閉まってから日本のオフィスが開くまで、西海岸から遠隔で対応できる人材が必要。

**企業にとってのメリット**

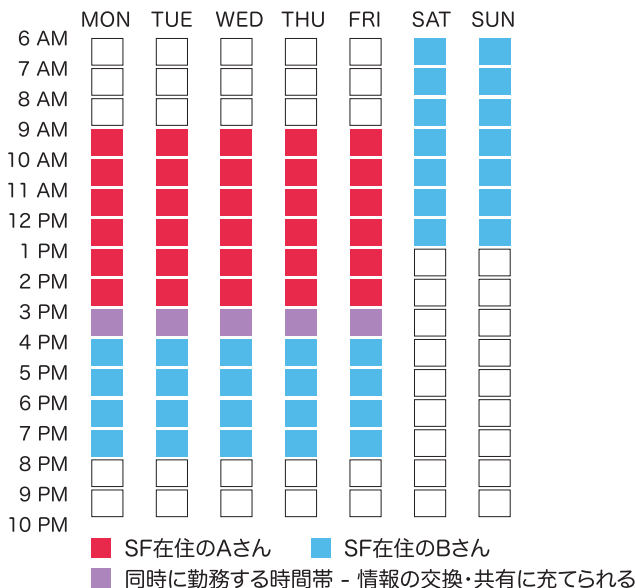
- 1 減少している日英バイリンガル人材の確保
- 2 これまで労働市場に参入していなかった有能な人材の活用
- 3 1人分の人件費で2人分の経験値やアイデアを活用できる
- 4 スタッフの労働時間の短縮による意欲・モチベーションの増加と、それに伴う実績の向上
- 5 1人が欠けても常にバックアップ体制が整っている

**ご質問・ご相談はiiicareerまで**

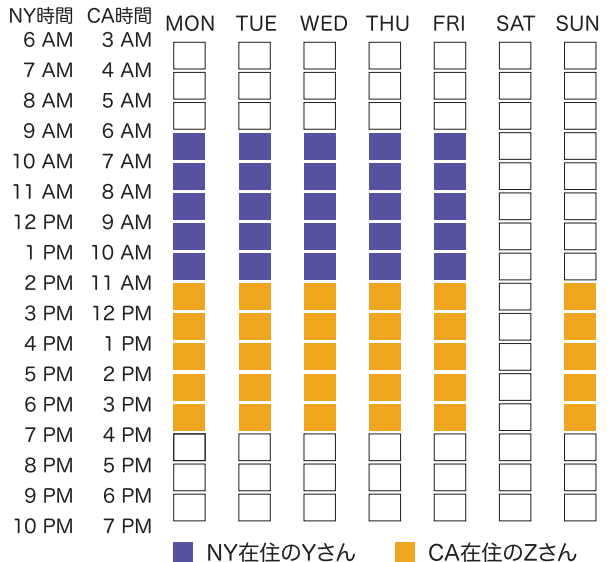
候補者の勤務可能な日時や経験を組み合わせ、1つのポジションを分業します。共同作業となるため、iiicareerのコンサルタントが候補者同士の相性をスクリーニングし、適切な人材をご紹介します。

interesse@iiicareer.com もしくは最寄りの iiicareer オフィスまでお問い合わせください。

**例1: 同じ地域在住の方の採用**



**例2: 他州に在住されている方の時差をうまく利用**



実際にアンケートに回答された方々の勤務可能日時です。



その他、曜日によって勤務を交替するパターンがあります。たとえばJさんが月曜、火曜、水曜を、Kさんが水曜、木曜、金曜を担当するような勤務形態です。この場合、水曜日はJさん、Kさんとも出勤し、2人の間で情報を交換・共有する日に充てます。

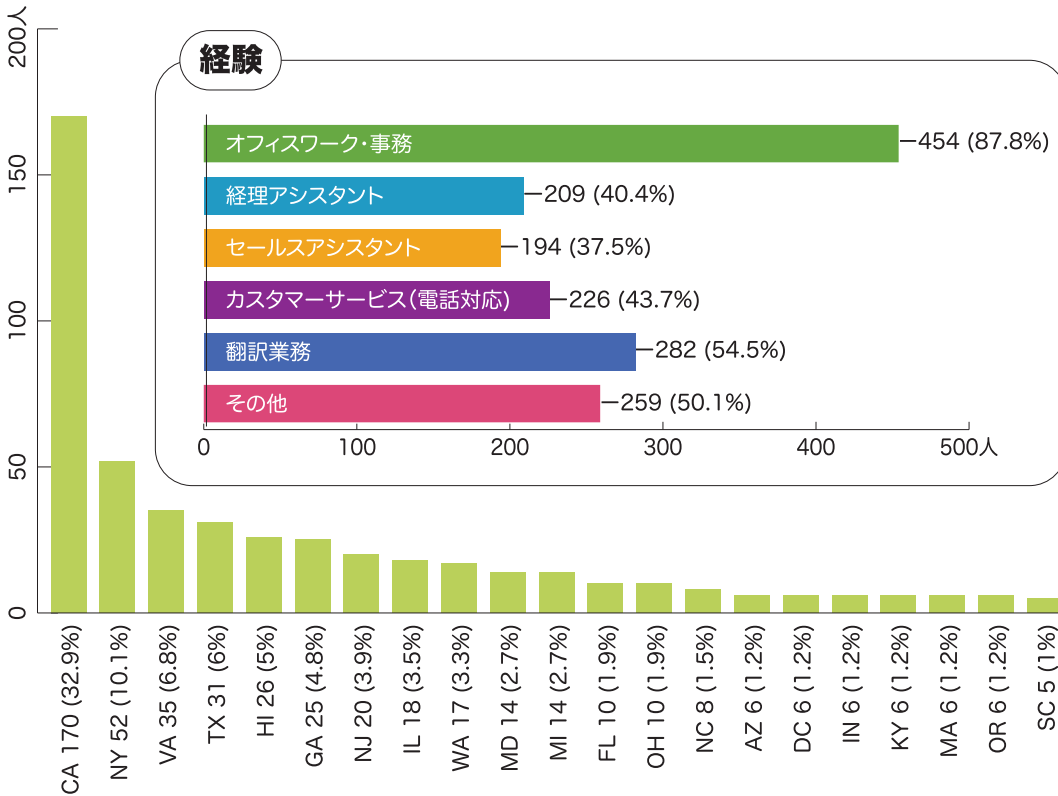


# ワークシェアリングで働ける人材 - アンケートの結果

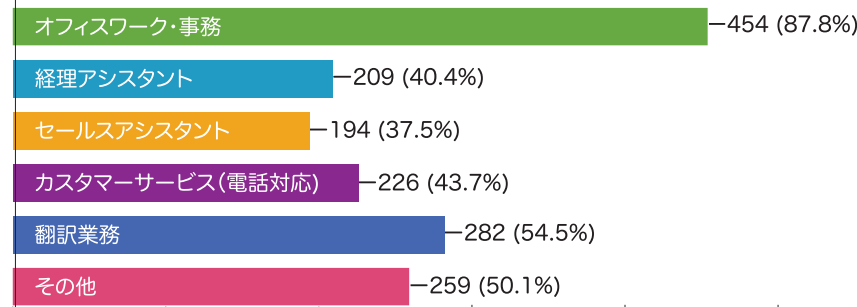
## iii career の候補者でフレキシブルな働き方をご希望の方に対しアンケートを実施

- 在宅（あるいは出社）で自分の可能な範囲の時間でできる方
- 週末や夜だけ、あるいは平日で限られた曜日のみ仕事が可能なる方
- 不定期だが単発なら仕事ができる方
- 時間は全く不規則だが、翻訳作業ならできる方 ● 副業もやってみたい方

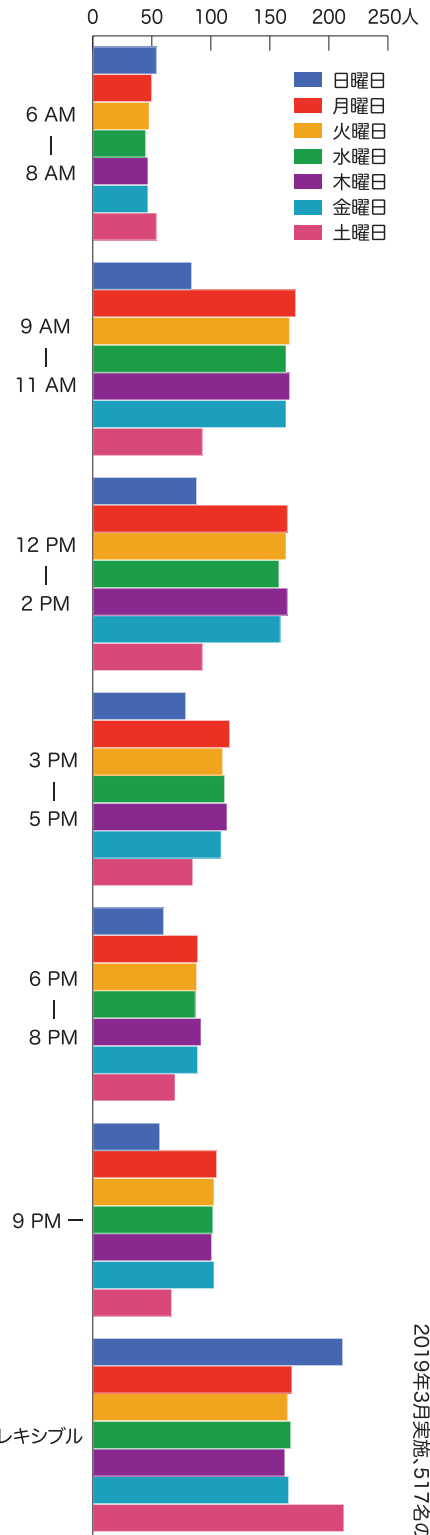
### 在住地域



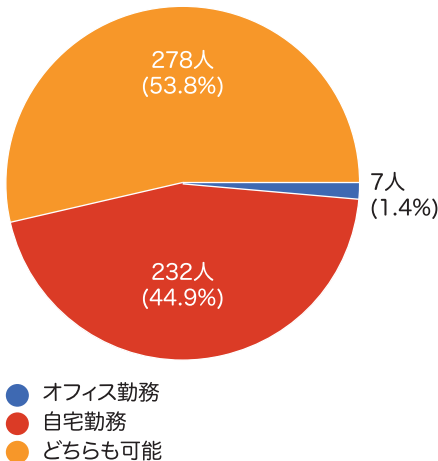
### 経験



### 勤務可能な日時



### 希望の勤務方法



### 希望の時給

